

2021年3月30日  
株式会社京葉銀行

## 第19次中期経営計画「α ACTION PLAN 2024」の策定について

株式会社京葉銀行（頭取 熊谷 俊行）は、2021年4月より2024年3月までの3年間を計画期間とする“第19次中期経営計画「α ACTION PLAN 2024」”を策定しましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 名称

第19次中期経営計画

「α ACTION PLAN 2024 ～さらなる進化～」

#### 2. 計画期間

3年間（2021年4月～2024年3月）

#### 3. 環境認識と計画のねらい

当行を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化やライフスタイルの変化、急速なデジタル化の進展、世界的な低金利の長期化などにより、大きく変化しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大は、地域経済にも大きな影響を与え、多くのお客さまが困難な状況に直面しています。

こうした中、京葉銀行グループは前中計で取り組んできた人財育成や課題解決型の営業を、本中計で新たなステージへ進化させることで、地域やお客さまのあらゆる課題解決に取り組み、地域のお客さまとともに持続的な成長を目指してまいります。

#### 4. 3つの基本戦略

<b>① 課題解決型営業の強化</b>
▶ 地域社会やお客さまの課題を発掘し、解決策の提示と実行支援に取り組む営業を強化します。
<b>② 生産性の向上と人財の育成</b>
▶ デジタル技術を活用し、当行とお客さま双方の生産性向上を図るとともに、課題解決を行うための人財を育成します。
<b>③ 経営基盤の強化</b>
▶ リスクとコストを適切にコントロールすることで、経営基盤を強化し、地域とともに持続的な成長を目指します。

#### 5. 本中計で目標とする経営指標

項目	2024年3月期
親会社株主に帰属する当期純利益	80億円
自己資本比率（連結）	11%程度
OHR（単体）	60%台

以上

# 第19次中期経営計画

## α ACTION PLAN 2024

～さらなる進化～

確かな“きずな”を、未来へ。  
株式会社京葉銀行

### 副題「さらなる進化」に込めた想い

前第18次中計における取り組みを、本中計で新たなステージへ進化させることで、地域のお客さまとともに「成長の好循環」を生み出す。こうした私たちの姿勢、意思を込めています。

### 成長の好循環

ソリューションサービスの進化

課題解決力の進化

人財力の進化

お客さまを笑顔に  
お客さまの持続的成長



地域を元気に  
地域の持続的成長



お客さまからの感謝が  
従業員の誇りや自信に  
従業員の自律的成長



社会課題 外部環境

コロナ禍

少子高齢化・後継者不足

低金利環境の長期化

ライフスタイルの変化

急速なデジタル化

規制緩和

SDGs

### 第19次中期経営計画 α ACTION PLAN 2024 ～さらなる進化～

計画期間

2021年4月～2024年3月（3年間）

#### 3つの基本戦略

##### 基本戦略①

#### 課題解決型営業の強化

地域社会やお客様の課題を発掘し、解決策の提示と実行支援に取り組む営業を強化します。

##### 基本戦略②

#### 生産性の向上と人財の育成

デジタルを活用し、当行とお客様双方の生産性向上を図るとともに、課題解決を行うための人財を育成します。

##### 基本戦略③

#### 経営基盤の強化

リスクとコストを適切にコントロールすることで、経営基盤を強化し、地域とともに持続的な成長を目指します。

目指す銀行像

お客様に信頼と利便性、高い満足度を提供する  
魅力のある、活力あふれる銀行

# 第19次中期経営計画 計画の位置づけ

確かな“きずな”を、未来へ。



京葉銀行

## 前中計の取り組みを深堀し、取引基盤を活用した課題解決型営業を展開

第18次中期経営計画  
(2018.4～2021.3)

第19次中期経営計画  
(2021.4～2024.3)

10年後  
(あるべき姿)

市場

人口 ↑ 世帯数 ↑

人口 → 世帯数 ↑

人口 ↓ 世帯数 ↓

重点テーマ

預貸金を中心とした  
取引基盤の拡大

取引基盤を活用した  
コンサルティング収益の増強

「課題解決型営業の強化」  
収益の増強・多角化

地域のお客さまと  
ともに安定的  
持続的に成長

経営資源

チャネル

対面

エリア制の試行  
店舗内店舗 (8店舗)

エリア制の全店展開  
店舗特性の見直し

店舗ネットワークの最適化

非対面

デジタル接点の拡大  
非対面完結型サービスの拡充

デジタル接点の拡大  
非対面コンサルティングの強化

次世代基幹システムを  
活用したサービスの向上

最適なオムニチャネル

人財

本部営業部署の新設  
エリア内OJTの開始

戦略的人員再配置  
内部交流・外部交流活性化

専門人材育成

プロフェッショナル集団

外部  
連携

証券仲介分野  
(SBI証券)

法個人ソリューション分野  
・デジタル分野など

異業種含む連携拡大

多種多様な  
パートナー

# 第19次中期経営計画 主な計数項目

確かな“きずな”を、未来へ。



## 経営指標

項目	2024/3（計画）
親会社株主に帰属する当期純利益	80億円
自己資本比率（連結）	11%程度
OHR（単体）	60%台

## 主要計数（2024/3計画）

### 法人ソリューション

中小企業向け 貸出残高	法人ソリューション 関連手数料(※)
1兆6,000億円	30億円

### 個人ライフプランニングサポート

住宅ローン残高	預かり資産 関連手数料
1兆7,800億円	35億円

(※) (株)京葉銀キャピタル&コンサルティング分を含む